

会長講演

平成20年7月25日(金) 14:55 ~ 15:50

第1会場(イベントホール)

うつ病の原因・症状・治療にみる多様性

司会：野村 総一郎 防衛医科大学校医学科精神学講座
 演者：神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

基調講演

平成20年7月25日(金) 14:00 ~ 14:55

第1会場(イベントホール)

うつ病の多様性と力動的アプローチ

司会：田代 信維 九州大学名誉教授
 演者：西園 昌久 心理社会的精神医学研究所

招待講演

平成20年7月26日(土) 13:30 ~ 14:30

第1会場(イベントホール)

紹介患者に見るうつ病治療の問題点

司会：加藤 忠史 理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム
 演者：神田橋 條治 伊敷病院

シンポジウム1 うつ病の多様性への治療戦略

平成20年7月25日(金) 9:00 ~ 11:30

第1会場(イベントホール)

オーガナイザー：内海 健 帝京大学医学部精神神経科
 黒木 俊秀 肥前精神医療センター

シンポジスト：

ディスチミア親和型という類型概念の意義

松尾 信一郎 医療法人慈光会若久病院

Bipolar Spectrumの多面的理解

津田 均 名古屋大学学生相談総合センター・名古屋大学大学院医学系研究科

現代の軽症うつ病の特徴とその治療

松浪 克文 虎の門病院精神科

指定討論：

非定型うつ病はうつ病か？ - 非定型うつ病の診断と治療をめぐるcontroversy -

坂元 薫 東京女子医科大学病院神経精神科

うつ病薬物治療の多様性

黒木 俊秀 肥前精神医療センター



シンポジウム2 東アジアにおけるうつ病医療事情

《同時通訳付》

平成20年7月26日(土) 9:00 ~ 11:30

第1会場(イベントホール)

オーガナイザー：新福 尚隆 西南学院大学人間科学部社会福祉学科
平野 裕子 九州大学医学部保健学科

Medication and Depression in Singapore

陳 晴雲 (Chay-Hoon Tan) シンガポール大学医学部精神科・薬理学

Antidepressants Use in Psychiatric Settings in East Asia

張 明永 (Mian-Yoon Chong) 長庚記念病院精神科

Treatment and Social Economic Burden of Depression in China

何 燕玲 (Yanling He) 上海医科大学精神病学教室

Socio-Epidemiological Study of Depression amongst Ethnic Korean Elderly in Japan

平野 裕子 九州大学医学部保健学科

シンポジウム3 緩和ケアにおけるうつへの対応

平成20年7月26日(土) 15:00 ~ 17:30

第1会場(イベントホール)

オーガナイザー：久保木 富房 東京大学名誉教授・早稲田大学客員教授・楽山病院名誉院長
久保 千春 九州大学病院

緩和ケアにおける抑うつ・不安症状とその特徴

川崎 弘詔 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

緩和ケアにおけるうつへのアプローチ 現状と課題

小川 朝生 国立がんセンター東病院精神腫瘍科

呼吸器専門病院における抑うつへの対応～当院緩和ケアチームの取り組み～

所 昭宏 近畿中央胸部疾患センター

当緩和ケア病棟におけるうつの治療の現状と死別体験後のうつについての報告

小林 秀正 特別医療法人萬生会西合志病院

ワークショップ1

平成20年7月25日(金) 9:00 ~ 11:00

第2会場(国際会議場)

うつ病の森田療法

コーディネーター：中村 敬 東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科
協力講師：樋之口 潤一郎 東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科
久保田 幹子 東京慈恵会医科大学精神医学講座・法政大学大学院人間社会研究科
小林 靖 慶應義塾大学医学部精神神経学科

ワークショップ2

平成20年7月25日(金) 9:00 ~ 10:45

第3会場(大会議室)

うつ病者の復職支援プログラム－始め方と実際－

コーディネーター：五十嵐 良雄 医療法人雄仁会メディカルケア虎ノ門
 協力講師：秋山 剛 NIT東日本関東病院精神科
 岡崎 涉 NIT東日本関東病院
 横山 太範 さっぽろ駅前クリニック
 尾崎 紀夫 名古屋大学医学系研究科精神医学
 福島 南 医療法人雄仁会メディカルケア虎ノ門

ワークショップ3

平成20年7月25日(金) 16:50 ~ 18:50

第2会場(国際会議場)

うつ病の集団認知行動療法

コーディネーター：岡本 泰昌 広島大学大学院医歯薬学総合研究科先進医療開発科学講座・精神神経医科学
 鈴木 伸一 早稲田大学人間科学学術院

ワークショップ4

平成20年7月25日(金) 16:50 ~ 18:50

第3会場(大会議室)

対人関係療法

コーディネーター：水島 広子 水島広子こころの健康クリニック・慶應義塾大学医学部

ワークショップ5

平成20年7月26日(土) 9:45 ~ 11:45

第2会場(国際会議場)

周産期の女性のうつ病の治療ストラテジー

－地域での予防的介入から医療機関における多職種チームによるサポートまで

コーディネーター：吉田 敬子 九州大学病院精神科
 協力講師：鈴宮 寛子 福岡市早良区保健福祉センター
 堀井 麻千子 九州大学病院精神科
 山下 洋 九州大学病院精神科

ワークショップ6

平成20年7月26日(土) 9:45 ~ 11:45

第3会場(大会議室)

産業カウンセラー

コーディネーター：野島 一彦 九州大学大学院人間環境学研究院



教育セミナー 1

平成20年7月25日(金) 18:00 ~ 18:50

第1会場(イベントホール)

子どものうつ病—子どものうつ病が問いかけるもの—

座長：西浦 研志 福岡市精神保健福祉センター
演者：村田 豊久 村田子どもメンタルクリニック

教育セミナー 2

平成20年7月26日(土) 8:50 ~ 9:40

第2会場(国際会議場)

うつ病と自殺の医療人類学：自殺予防にかかわる医師の葛藤を中心に

座長：黒木 俊秀 肥前精神医療センター
演者：北中 淳子 慶應義塾大学文学部

教育セミナー 3

平成20年7月26日(土) 15:00 ~ 16:00

第2会場(国際会議場)

抗うつ薬治験の現状と課題：プラセボ対照の無作為化比較試験を中心にして

座長：樋口 輝彦 国立精神・神経センター
演者：中野 重行 国際医療福祉大学大学院創薬育薬医療分野
大分大学医学部創薬育薬医学 (大分大学名誉教授)

第2回うつ病診療講習会

平成20年7月26日(土) 9:00 ~ 13:00

第4会場(601)

定員：30名（事前申込み制、席に余裕がございましたら当日も受付をいたします。）

参加費：10,000円（テキスト・受講修了書・昼食代を含む）

参加資格：日本うつ病学会の正会員で、かつ下記のいずれかに該当する方

- （対象）
1. うつ病（精神科）診療経験3年以内の精神科医
 2. プライマリーケア医または内科医など精神科医以外の医師
- ※うつ病（精神科）診療経験年数は問いません。

日本うつ病学会診療教育委員会は、うつ病臨床のボトムアップのために、昨年より講習会を開催しています。今回は、第2回目となりますが、自らの診療技術に自信がない、標準的な診療をまとめて学習したいという医師を対象としています。

目的と形式：

うつ病診療の標準的な治療とは何かを、3時間、少人数でのグループ形式参加型講習会で、学習することを目的としています。症状の評価、的確な診断、患者・家族への説明、治療法の選択と実践、回復・復帰の準備、保健福祉や職場との連携など・・・うつ病診療のポイントやピット・フォールを専門家と一緒に学ぶ機会です。講師は診療教育委員会委員およびうつ病診療のエキスパートが担当します。

講習会の最後に受講修了書を発行します。

診療教育委員会委員長 平安 良雄

<プログラム予定>

オーガナイザー：野村 総一郎 防衛医科大学校医学科精神学講座
平安 良雄 横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門

9:00- 9:05	イントロダクション：研修方法の概略説明 テーブル（グループ）ごとに自己紹介を行う
9:05- 9:10	アンケート記載と回収
9:10- 9:30	リーディング・レクチャー
9:35- 9:40	症例1呈示（治療に問題がある症例）
9:40- 10:05	グループワーク：問題点抽出
10:05- 10:15	ポイント解説：症例の問題点を確認、Q&A
10:15- 10:35	レクチャー：薬物療法の留意点について < 10:35- 10:50 休憩 >
10:50- 10:55	症例2呈示（診断に問題がある症例）
10:55- 11:20	問題点抽出：問題点抽出
11:20- 11:30	ポイント解説：症例の問題点を確認、Q&A
11:30- 11:50	レクチャー：診断について
11:50- 12:00	まとめ（野村理事長）
12:00- 12:15	アンケート記載と回収
12:15- 13:00	食事と懇談



交流の広場

平成20年7月26日(土) 10:00 ~ 12:00

第5会場(交流ギャラリー)

自死遺族の声に耳を傾けて

リメンバー福岡自死遺族の集い (代表: 井上 久美子)

「交流の広場」は、医師、看護師、臨床心理士、ケースワーカー、保健師、カウンセラー等々、多職種の人々が集い、さまざまな立場をこえて、うつ病の医療・保健・福祉における共通のテーマについて自由に語り合ってみようという企画です。

今回は、大切な人を自殺によってなくされたご遺族の自助グループである「リメンバー福岡自死遺族の集い」の方々をお招きして、ご遺族の体験をうかがい、うつ病医療の関係者と意見交換を行いたいと思います。ご遺族の声に私たちが謙虚に耳を傾けることで、今日のうつ病医療に欠けているものがあらわになるかも知れません。しかし、こうした機会にご遺族と交流をもつことで、うつ病医療の明日が開かれるものと信じます。

(第5回日本うつ病学会総会事務局・黒木 俊秀)

*リメンバー福岡自死遺族の集い

ホームページ: <http://www.h3.dion.ne.jp/~remefuku>

問合せ先: 福岡市精神保健福祉センター

TEL: 092-737-8826 (月-金 10:00-12:00, 13:00-16:00)

FAX: 092-525-2308

コメディカル委員会企画シンポジウム

平成20年7月26日(土) 15:00 ~ 17:00

第4会場(601)

うつ状態の見立てからケア —他職種の効果的連携を旨として—

参加申込方法: 7月25日(金) 8:20 ~ 受付を開始いたします。総合受付でお申込みください。先着50名、定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費: 無 料

司 会: 森崎 美奈子 帝京平成大学大学院健康情報科学研究科・健康メディカル学部臨床心理学科
長谷川 雅美 金沢大学医薬保健研究域保健学系

シンポジスト:

抑うつ状態の見立て

佐野 信也 防衛医科大学校心理学

医療と教育への架け橋として、臨床心理士の立場から

向笠 章子 聖マリア病院心理療法科

地域精神保健におけるうつ病対策

山口 律子 NPO法人MDA(うつ気分障害協会)

双極性障害委員会企画シンポジウム (East Asia Bipolar Symposium)

平成20年7月26日(土) 14:45 ~ 17:15

第3会場(大会議室)

オーガナイザー： 神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

Opening Lecture

Maintenance treatment of bipolar disorders

Mauricio Tohen Indianapolis, USA

シンポジスト：

Clinical and research activities for bipolar disorders in Korea

Kyooseob Ha Seoul, Korea

Clinic, research and postgraduate training on mood disorder in Shanghai Metal Health Center

Wu Hong Shanghai, China

Neurophysiological research of bipolar disorder at Kyushu University

Shigenobu Kanba Fukuoka, Japan

Clinical and research work of bipolar disorder in Taiwan

Yuan-Hwa Chou Taipei, Taiwan

Drug treatment of bipolar disorder in the university hospital, southern Thailand

Pichet Udomratn Songkhla, Thailand

ランチョンセミナー 1

平成20年7月25日(金) 12:00 ~ 13:00

第1会場(イベントホール)

うつ病と睡眠障害

座長：村崎 光邦 北里大学
 演者：内村 直尚 久留米大学医学部精神神経科
 共催：アステラス製薬株式会社／明治製菓株式会社

ランチョンセミナー 2

平成20年7月25日(金) 12:00 ~ 13:00

第2会場(国際会議場)

高齢者におけるうつ病の診かた ～認知症との関係をどう考えるか～

座長：武田 雅俊 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学
 演者：池田 学 熊本大学大学院医学薬学研究部脳機能病態学分野(神経精神科)
 共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 3

平成20年7月25日(金) 12:00 ~ 13:00

第3会場(大会議室)

うつ病治療における治療予測の重要性についてーバウムテストとの関連性を中心に

座長：西村 良二 福岡大学病院精神神経科
 演者：徳永 雄一郎 不知火病院
 共催：旭化成ファーマ株式会社／ヤンセンファーマ株式会社

ランチョンセミナー 4

平成20年7月26日(土) 12:00 ~ 13:00

第1会場(イベントホール)

5HT1A作動薬の臨床的有用性

座長：樋口 輝彦 国立精神・神経センター
 演者：山田 和夫 東洋英和女学院大学人間科学部・和楽会横浜クリニック
 共催：大日本住友製薬株式会社

ランチョンセミナー 5

平成20年7月26日(土) 12:00 ~ 13:00

第2会場(国際会議場)

抗うつ薬と自殺関連事象ーSSRIを中心に

座長：神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野
 演者：中村 純 産業医科大学精神医学教室
 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社



ランチョンセミナー 6

平成20年7月26日(土) 12:00 ~ 13:00

第3会場(大会議室)

新規抗うつ薬の作用・検証—ドパミン神経伝達に注目して

座長：大野 裕 慶應義塾大学保健管理センター
演者：中山 和彦 東京慈恵会医科大学精神医学講座
共催：日本オルガノン株式会社

イブニングセミナー 1

平成20年7月25日(金) 16:00 ~ 17:00

第1会場(イベントホール)

双極性障害を見出し、適切な治療へ：産業衛生・臨床現場で知っておくべきこと

座長：山脇 成人 広島大学大学院精神神経医科学
演者：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野
共催：協和発酵工業株式会社

イブニングセミナー 2

平成20年7月25日(金) 17:00 ~ 18:00

第1会場(イベントホール)

慢性疼痛の治療—診療のポイントと抗うつ薬の意義—

座長：久保 千春 九州大学病院
演者：美根 和典 福岡大学薬学部臨床心身治療学・福岡大学保健管理センター診療所
共催：日本イーライリリー株式会社/塩野義製薬株式会社

イブニングセミナー 3

平成20年7月26日(土) 16:15 ~ 17:15

第2会場(国際会議場)

Post Strokeにおけるうつ状態と認知障害の分子機構と治療戦略

座長：杠 岳文 国立病院機構肥前精神医療センター
演者：卜部 貴夫 順天堂大学医学部脳神経内科
共催：大塚製薬株式会社

市民公開講座

平成20年7月26日(土) 18:15 ~ 20:15

第1会場(イベントホール)

テーマ：「うつ病からの回復を目指して」

- 名 称：**JCPTD / 日本うつ病学会 市民公開講座
- 主 催：**日本うつ病学会 / JCPTD委員会(一般診療科におけるうつ病の予防と治療のための委員会)
- 挨 拶：**中根 允文 長崎大学 名誉教授
- 司 会：**神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野 教授
- 講 演：**久保 千春 九州大学病院 病院長
上島 国利 国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科 教授
- 特別講演：**小山 明子 女優

パネルディスカッション

共 催：塩野義製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社

入 場 料：無 料

定 員：700席(予定)

参加申込方法：当日受付のみ

問い合わせ先：第5回日本うつ病学会総会 運営事務局
株式会社コンベンションリンクージ内
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多偕成ビル
TEL : 092-437-4188 FAX : 092-437-4182
E-mail : jsmd_5th@c-linkage.co.jp

薬物療法

P-01

エビデンスに基づいた双極性うつ病急性期の薬物治療ガイドラインとわが国の適応症における問題

山田 和男¹⁾、石郷岡 純²⁾、神庭 重信³⁾1) 東京女子医科大学東医療センター精神科、2) 東京女子医科大学医学部精神医学教室、
3) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

P-02

抗うつ薬の副作用への対処法について～大規模インターネット調査より～

菊地 俊暁、渡邊 衡一郎、鹿島 晴雄

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

P-03

抗うつ薬SSRIとSNRIの性別による使い分けの検討

森下 茂¹⁾、有田 清三郎²⁾

1) 十条リハビリテーション病院うつ予防医療センター、2) 関西医科大学医学統計学教室

P-04

寛解を目指したfluvoxamineによるうつ病治療の最適化

鈴木 雄太郎、小野 信、福井 直樹、須貝 拓朗、澤村 一司、渡邊 純蔵、
常山 暢人、染矢 俊幸

新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

P-05

治療抵抗性うつ病に対するlithium augmentation療法の有効性の予測因子の検討

菅原 裕子、鈴木 枝里子、稲田 健、大下 隆司、坂元 薫、石郷岡 純

東京女子医科大学神経精神科

P-06

うつ病の薬物治療反応性と光トポグラフィー寛解例と反応不良例との比較—

小久保 羊介、山縣 文、田中 宏明、峯岸 玄心、真田 建史、山田 浩樹、
高塩 理、三村 將

昭和大学医学部精神医学教室

P-07

Quetiapineによるaugmentationが奏功した身体症状を伴うつ病の4症例

里村 恵美、馬場 元、榛沢 亮、前嶋 仁、中野 祥行、鈴木 利人、
新井 平伊

順天堂大学医学部精神医学教室

P-08

低用量のAripiprazole併用が奏効した難治性うつ病の4症例

馬場 元¹⁾、野口 岩秀²⁾、新井 礼子²⁾、鈴木 利人¹⁾、新井 平伊¹⁾

1) 順天堂大学医学部精神医学教室、2) 平仁会下館病院

P-09

繰り返す過眠症状に対してSSRIが著効した2症例について

村山 順一、和田 有司

福井大学医学部神経科精神科



P-10

m-ECT後のリチウム強化療法が有効であった難治性うつ病の2例

大江 美佐里、広田 進、向野 美智子、松岡 稔昌、小路 純央、内村 直尚
久留米大学医学部精神神経科

P-11

怒り発作に対してバルプロ酸が奏効した非定型うつ病の二症例

本村 啓介¹⁾、森 順子²⁾、神庭 重信¹⁾
1)九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、2)国立病院機構別府医療センター精神科

P-12

SSRI服用後の自殺衝動性昂進と思われる2女性例(34.40歳)の報告

脇元 安
脇元クリニック

薬物療法以外の治療法

P-13

認知行動療法は自己関連付けに関連して脳活動を改善する

吉村 晋平¹⁾、岡本 泰昌¹⁾、小野田 慶一¹⁾、吉野 敦雄¹⁾、岡田 剛¹⁾、松永 美希¹⁾、
木下 亜紀子¹⁾、上田 一貴²⁾、鈴木 伸一³⁾、山脇 成人¹⁾
1)広島大学大学院医歯薬学総合研究科、2)東京大学先端技術研究センター、
3)早稲田大学人間科学学術院

P-14

難治性うつ病の再燃予防における複合的アプローチ ECT施行の1年後転帰をふまえて

須賀 英道、諏訪 太朗、大下 颯
京都大学大学院医学研究科精神医学教室

P-15

「抑うつ」「不安」をキーワードにした複数集団療法のコラボレーション治療

樋口 典子
医療法人善慈会大分丘の上病院

P-16

うつ病患者を対象とした復職デイケアにおける通所効果判定の試み

片桐 陽子、名倉 祥文、伊東 優
医療法人栄仁会宇治おうばく病院

P-17

インターネット上で実行できるオンライン認知行動療法プログラムの開発

根本 清貴^{1,2,3)}、太刀川 弘和^{2,4)}、遠藤 剛^{2,3,4)}、芦澤 裕子^{2,3)}、田中 耕平^{2,3)}、
石井 竜介^{2,3,4)}、小倉 宏三^{2,3)}、太田 深秀^{2,3)}、坂寄 健^{2,3)}、朝田 隆³⁾
1)八峰会池田病院、2)PSYCHOLOSOFT、3)筑波大学精神医学、4)茨城県立友部病院

P-18

聴覚障害を主訴とした難治性うつ病に対し心理療法と抗うつ薬の増量が有効であった症例

中井 貴美子、五島 史行
日野市立病院耳鼻咽喉科

P-19 認知行動療法を柱とした気分障害・神経症性障害専門治療デイケアの有効性
—ストレス性疾患専門治療コミュニティ こころの翼—

太田 滋春
医療法人中江病院

P-20 うつ病患者の認知修正のために—イメージ技法を用いて

森田 薫
国立病院機構肥前精神医療センター

P-21 コメディカルスタッフによるうつ病患者へのアプローチ ～自他否定から自己受容へ～

布川 智恵、信高 久仁子、遠山 沙希
医療法人社団明心会あおば病院

P-22 ストレスケア病棟における看護師の役割

原 恭美、松尾 富佐子
医療法人新光会不知火病院

P-23 うつ病治療におけるチーム医療の重要性と医師の役割

高田 和秀、徳永 雄一郎
不知火病院

P-24 うつ病治療における陶芸活動の意義

山本 久美子
不知火病院作業療法科

病態・症状・診断・評価

P-25 気分障害の病態生理解明と合理的治療を目指した試み

栗田 征武^{1,2)}、西野 敏^{1,2)}、中畑 則道²⁾、佐藤 忠宏¹⁾
1) 公徳会佐藤病院、2) 東北大薬

P-26 抗うつ薬の神経免疫調整作用に関する研究

堀川 英喜、加藤 隆弘、門司 晃、溝口 義人、橋岡 禎征、神庭 重信
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

P-27 脳由来神経栄養因子(BDNF)遺伝子多型とパーソナリティの関連研究

水田 直樹、穂吉 條太郎、石井 敬、花田 浩昭、松下 裕貴、田中 悦弘、
津留 壽船、堤 隆
大分大学医学部脳・神経機能統御講座(精神神経医学教室)

P-28 双極性障害におけるセロトニントランスポーター遺伝子多型の相関解析

織部 直弥、光安 博志、後藤 玲央、小林 祐樹、高田 篤、川崎 弘詔、
神庭 重信
九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野



P-29

大うつ病性障害における唾液アミラーゼと心拍変動・STAIの関連研究

石飛 佳宣、穂吉 條太郎、水田 直樹、花田 浩昭、松下 裕貴、田中 悦弘、
津留 壽船
大分大学医学部脳・神経機能統御講座(精神神経医学教室)

P-30

気分障害患者における体力と抑うつの重症度との関係

鈴木 竜世、藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター

P-31

大うつ病患者の局所脳血流と治療によるその変化

宮下 伯容¹⁾、岡野 高明³⁾、増子 博文¹⁾、丹羽 真一¹⁾、宍戸 文男²⁾
1) 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、2) 福島県立医科大学医学部放射線医学講座、
3) 長嶺南クリニック

P-32

SSRI離脱症状における性的亢進有無に関するfMRI研究

三明 薫、穂吉 條太郎、花田 浩昭、松下 裕貴、田中 悦弘、津留 壽船、
河野 義久
大分大学医学部精神神経科

P-33

血しょうのドパミン代謝産物(HVA)ならびにノルアドレナリン代謝産物(MHPG)と症状改善が相関を示したうつ病の1症例

栗田 征武^{1,2)}、西野 敏^{1,2)}、佐藤 忠宏¹⁾、中畑 則道²⁾
1) 公徳会佐藤病院、2) 東北大学大学院薬学研究科細胞情報薬学分野

P-34

梅雨による日照量の減少によりPSGでREM変数に変化が認められた1例

田原 啓二¹⁾、藤田 雅彦²⁾、石崎 良民子²⁾
1) 医療法人青流会くじらホスピタル、2) 医療法人社団ウェルネス望洋台医院

P-35

気分障害患者のエゴグラムの特徴

富永 幹人
不知火病院

P-36

重複不安障害におけるうつ病併発リスク

宮崎 誠樹、吉野 相英、野村 総一郎
防衛医科大学校精神科学講座

P-37

循環器入院患者における抑うつと不安スケールリング

鈴木 豪¹⁾、桑原 和江¹⁾、志賀 剛¹⁾、大森 久子¹⁾、萩原 誠久¹⁾、笠貫 宏¹⁾、
小林 清香²⁾、西村 勝治²⁾、鈴木 伸一³⁾
1) 東京女子医科大学循環器内科、2) 東京女子医科大学精神科、3) 早稲田大学人間学術院

P-38

**一般住民におけるCES-D(うつ病のスクリーニング検査)陽性者の有病率：
久山町研究**

関田 敦子¹⁾、松井 幸子¹⁾、有馬 久富²⁾、谷崎 弓裕²⁾、土井 康文³⁾、米本 孝二²⁾、
清原 裕²⁾、神庭 重信¹⁾

1)九州大学大学院医学研究院精神病態医学、2)九州大学大学院医学研究院環境医学、
3)九州大学大学院医学研究院病態機能内科学

P-39

うつ状態入院患者の臨床的分類試案

三根 芳明、高島 宗煥

西八王子病院

P-40

長期間治療を要しているうつ病・うつ状態の検討

北浦 寛史、大原 一幸、守田 嘉男、岩永 伴久、森脇 大裕、植野 秀男、
高長 明律

兵庫医科大学医学部精神科神経科学

P-41

植込み型除細動器(ICD)植え込み患者の抑うつ・不安：ICD作動との関連

桑原 和江^{1,2)}、小林 清香³⁾、井上 敦子³⁾、鈴木 豪¹⁾、西村 勝治³⁾、志賀 剛¹⁾、
鈴木 伸一⁴⁾、萩原 誠久¹⁾、笠貫 宏¹⁾

1)東京女子医科大学循環器内科、2)東京女子医科大学女性医学研究者支援室、
3)東京女子医科大学神経精神科、4)早稲田大学学術院人間科学部

P-42

遷延化したうつ病患者に見られる特徴について—主に心理検査MMPIをもとに—

松原 六郎

財団法人松原病院

P-43

長期間の治療を経て双極性障害と診断変更になった3症例

戸田 裕之、佐々木 敦、丸山 透

自衛隊札幌病院精神科

P-44

咬合異常感を有し、詳細な病歴を記載した身体表現性障害と考えられたうつ病

石田 恵

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科頭頸部心身医学分野

P-45

うつ病の部分症状として強迫症状が出現した一例

實松 寛晋^{1,2)}

1)九州大学大学院医学研究院精神病態医学、2)福岡赤十字病院

P-46

**重症心不全とICD植え込み患者における心理的側面の評価ならびに介入身体疾患
を有するケースでの抑うつ**

鈴木 豪¹⁾、桑原 和江¹⁾、志賀 剛¹⁾、大森 久子¹⁾、萩原 誠久¹⁾、笠貫 宏¹⁾、
小林 清香²⁾、西村 勝治²⁾、鈴木 伸一³⁾

1)東京女子医科大学循環器内科、2)東京女子医科大学精神科、3)早稲田大学人間学術院



P-47 抑うつ的反すうの能動性を維持する信念の内容

長谷川 晃¹⁾、金築 優²⁾、根建 金男³⁾

1) 早稲田大学大学院人間科学研究科、2) 帝京平成大学健康メディカル学部、
3) 早稲田大学人間科学学術院

P-48 うつ病発症および抗うつ薬反応性に寄与する因子構造の解明

木村 友香¹⁾、桑原 麻友子¹⁾、萩原 甲陽¹⁾、栗原 竜也¹⁾、小山田 英人²⁾、
大坪 天平³⁾、三村 將³⁾、加藤 進昌³⁾、小口 勝司²⁾、米山 啓一郎⁴⁾、木内 祐二¹⁾

1) 昭和大薬病態生理学教室、2) 昭和大医第一薬理学教室、3) 昭和大医精神医学教室、
4) 昭和大保健管理センター

ライフサイクルとうつ病

P-49 4か月児をもつ母親の母乳育児継続と心の疲労度に関連する要因の検討

河村 奈美子¹⁾、松村 寛子¹⁾、山内 まゆみ²⁾

1) 札幌市立大学看護学部、2) 旭川医科大学医学部看護学科

P-50 産後うつ病等による乳幼児子育て中の母親の自殺予防に関する研究—母子保健と精神保健の統合を目指して

中板 育美¹⁾、佐野 信也²⁾、田村 房代³⁾、渡辺 好恵⁴⁾、柴山 陽子⁵⁾、藤原 千秋⁶⁾、
遠藤 厚子⁷⁾、家入 香代⁸⁾

1) 国立保健医療科学院公衆衛生看護部、2) 防衛医科大学校心理学、3) 中山クリニック、
4) さいたま市保健所、5) 川崎市子ども家庭センター、6) 東京都町田保健所、
7) 東京都世田谷区玉川総合支所、8) とちぎ健康福祉協会

P-51 愛着障害から抑うつ状態を呈した児童の回復過程

永江 誠治、花田 裕子、小澤 寛樹

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

P-52 一般中学生におけるうつ病の有病率：半構造化面接を用いた実態調査

佐藤 寛¹⁾、下津 咲絵²⁾、石川 信一¹⁾

1) 宮崎大学教育文化学部、2) 九州保健福祉大学社会福祉学部

P-53 女性うつ病患者を対象とする集団認知療法プログラムの効果の検討

岡田 佳詠¹⁾、中村 聡美²⁾、田島 美幸³⁾、曾根原 純子⁴⁾、矢内 里英⁵⁾、沼 初枝⁶⁾、
渡邊 球美²⁾、秋山 剛²⁾

1) 淑徳大学看護学部、2) NTT東日本関東病院精神神経科、
3) 慶應義塾大学医学部ストレスマネジメント室、4) 横須賀共済病院、5) 埼玉県立精神医療センター、
6) 立正大学

P-54 子どもの抑うつと食生活の関連性

花田 裕子¹⁾、本田 純久²⁾、永江 誠治¹⁾、小澤 寛樹¹⁾

1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、2) 長崎大学熱帯医学研究所

P-55

**認知行動的アプローチに基づく小学生用抑うつ予防プログラムの長期的効果：
8ヶ月フォローアップによる検討**

佐藤 正二¹⁾、今城 知子²⁾、佐藤 寛¹⁾、石川 信一¹⁾、戸ヶ崎 泰子¹⁾、佐藤 容子¹⁾
 1) 宮崎大学教育文化学部、2) 宮崎大学教育学研究科

P-56

中学生に対する学校ベースの抑うつ予防プログラムの効果

石川 信一、戸ヶ崎 泰子、佐藤 正二、佐藤 容子
 宮崎大学教育文化学部

P-57

不登校を主訴とした小児思春期うつ病の一例

阿部 又一郎^{1,2,3)}、大島 一成²⁾
 1) 国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部、2) 東京医科歯科大学医学部附属病院精神科、
 3) 栗田病院

P-58

年齢群別にみたうつ病寛解期における遂行機能：第2報

中野 祥行¹⁾、馬場 元¹⁾、前嶋 仁¹⁾、北島 明佳²⁾、酒井 佳永¹⁾、鈴木 利人¹⁾、
 新井 平伊¹⁾
 1) 順天堂大学医学部精神医学教室、2) 元気会横浜病院

P-59

**寛解期うつ病患者における記憶機能の縦断的調査
～うつ病は認知症の危険因子か?～**

前嶋 仁¹⁾、馬場 元¹⁾、中野 祥行¹⁾、北島 明佳²⁾、鈴木 利人¹⁾、新井 平伊¹⁾
 1) 順天堂大学医学部精神医学教室、2) 元気会横浜病院

P-60

うつ病における認知機能の障害について ～認知症に移行する患者の特徴～

渡邊 友弥、真鍋 貴子、落合 結介、森田 満子、津村 麻紀、古川 はるこ、
 角 徳文、中西 達郎、小曾根 基裕、忽滑谷 和孝、笠原 洋勇、中山 和彦
 東京慈恵会医科大学精神医学講座

P-61

高齢者うつ病とアルツハイマー病に伴ううつ状態の比較検討

服部 英幸、吉山 顕次、三浦 利奈
 国立長寿医療センター行動・心理療法科

P-62

うつ病性仮性認知症に修正型電気けいれん療法が著効した高齢者症例

田端 一基
 医療法人社団旭川圭泉会病院

産業メンタルヘルス

P-63

事業場用うつ病スクリーニング尺度の開発

高安 陶子¹⁾、島 悟^{1,2)}、大庭 さよ¹⁾
 1) 神田東クリニック、2) 京都文教大学臨床心理学部



P-64

社員健診時調査からみた精神保健と勤務状況の関連

鈴木 かす美¹⁾、高尾 昌樹²⁾、三村 将³⁾

1) (株)荏原製作所人事室保健グループ、2) 財団法人脳血管研究所美原記念病院、
3) 昭和大学病院精神神経科

P-65

うつ病患者の復職にあたって有用な判断材料は何か？

小川 哲男、重村 淳、吉野 相英、野村 総一郎

防衛医科大学校精神科学講座

P-66

メンタルクリニックにおけるうつ病休職者のための職場復帰支援プログラムの試み

後藤 健一¹⁾、久保 真理¹⁾、横田 安奈¹⁾、山本 貢司¹⁾、石田 太¹⁾、小関 奈々子¹⁾、
舩松 克代^{1,2)}、三木 和平^{1,3)}

1) 横浜ストレスケアクリニック、2) 田園調布学園大学人間福祉学部人間福祉学科、
3) 三木メンタルクリニック

P-67

うつ病の復職準備性評価についての検証

福島 南¹⁾、今村 幸太郎^{1,2)}、加藤 由希¹⁾、五十嵐 良雄¹⁾

1) 医療法人社団雄仁会メディカルケア虎ノ門、2) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻

P-68

入院治療をうけた気分障害患者の職業的転帰に関する予備的研究

酒井 佳永、馬場 元、鈴木 利人、新井 平伊

順天堂大学医学部精神医学教室

P-69

リワーク支援からみた職場復帰支援モデルの検討

小原 美樹¹⁾、島 悟^{1,2)}、高安 陶子¹⁾、大庭 さよ¹⁾

1) 神田東クリニック、2) 京都文教大学

P-70

うつ病等精神疾患による休職者への支援—外部EAP機関の実践

梅澤 志乃¹⁾、徳永 雄一郎²⁾

1) 株式会社ジャパンEAPシステムズ、2) 医療法人社団新光会不知火病院

P-71

不知火病院における勤労者のうつ病復職支援 ～産業ソーシャルワークの視点から

前田 佐織、高田 奈巳代、曾ノ木 秀治

医療法人新光会不知火病院

P-72

気分障害患者の復職支援における自衛隊福岡病院の取り組み

濱田 智子、高橋 寿幸、江平 麻弥、西川 尚子、角田 智哉

自衛隊福岡病院精神科

P-73

状況構成からみた職場復帰—5度目の配置転換でうつ病を発症した1症例から—

近田 真美子

北海道医療大学看護福祉学部

家族への支援

P-74 同居家族のうつ病に対する認識プロセスと経験

木村 洋子¹⁾、長谷川 雅美²⁾

1) 奈良県立医科大学医学部看護学科、2) 金沢大学大学院医学系研究科

その他

P-75 二度の第二十三条通報を申請した慢性うつの事例について

小池 梨花

東京都江東区城東保健相談所